使用上のご注意

ランプの寿命について

● 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約5，000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
● ランプは消耗品扱いです。
● ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
● ランプの寿命について
ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

● 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
● 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
● 持ち運びするときは、付属のケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
● レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
● やむを得ず宅配便などで郵送する際は、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
● Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
● 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
● 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意

禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレー、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてください。

警告 ⚠

 厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
 水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
 厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
 禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
 禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
 厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
 分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
 禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
 禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
 禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。
また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカ ーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

厳守

長時間に渡って映像を見る場合は一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。

禁止

排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。

禁止

ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。

厳守

ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。

厳守

ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。

禁止

指定の電池(CR2025)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。

厳守

電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。

厳守

取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には＋極と－極があります。)故障の原因となります。

注意

本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。
目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。
本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるところ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

設置場所について

本プロジェクターは190Wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（P15を参照してください）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な 電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B デジタル装置に関する制限

この Class B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクターは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/乱用は、次のような場合をいいます (但し、これは一部の例です)。
    - 装置を落下した。
    - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
    - プロジェクターに液体をこぼした。
    - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
    - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

    お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma グローバルオフィスにお電話ください。
7. プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

安全上のご注意

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

- 警告- ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- 警告- ランプを交換する際は、本体を十分に放熱させてから行ってください。60-61ページに記載の手順に従ってください。
- 警告- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告- ランプ モジュールを交換した場合は、OSDメニューの [オプション|ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします(52ページを参照)。
- 警告- - プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
- 警告- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプ警告: ランプの寿命が過ぎています。」というメッセージが表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡してランプを購入し、交換してください。

❖ ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」(60-61ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。

推奨事項：

- ❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ❖ ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- ❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - 室温が 5 - 40°C の範囲に保たれていることを確認します。
    - 相対湿度は5 - 40°C、80% (最大)で、結露のしない環境で使用します。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告

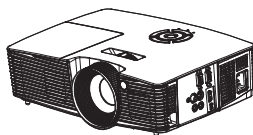
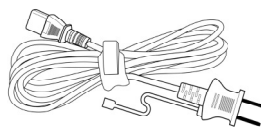
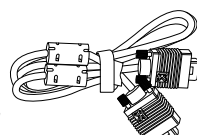
- 常にプロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

製品の特長

- WXGA (1280 x 800)ネーティブ解像度
- HD 対応 – 720および1080ピクセルをサポート
- BrilliantColor™ テクノロジ
- ケンシントンロック
- RS232 コントロール
- 高速シャットダウン
- フル3D (*) (64ページ参照)
- 製品の機能は、実際な状況に合わせメーカーにより設定されます。

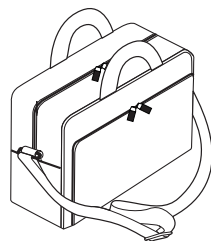
- (*) HDMI入力を備えたモデルの場合。
- 製品の機能はモデルによって異なることがあります。

パッケージの内容

お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開けて、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。万一、不足品がある場合は、お近くのカスタマー サービス センターにご連絡ください。

プロジェクター　　電源コード　　VGAケーブル(*)

❖ 付属品は
お住まい の国や
地域によって異なる場
合があります。

電池

IR リモコン

キャリングケース *1

文書:

☑ 取扱説明書

☑ 保証書

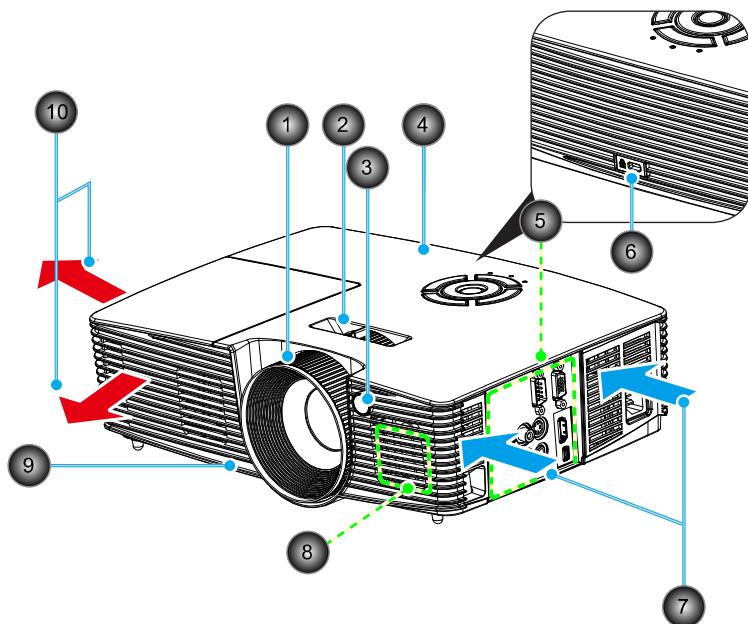
☑ クイック スタート カード

❖ *1 付属品はモデルの仕様によって異なります。

電源コードについて注意事項:

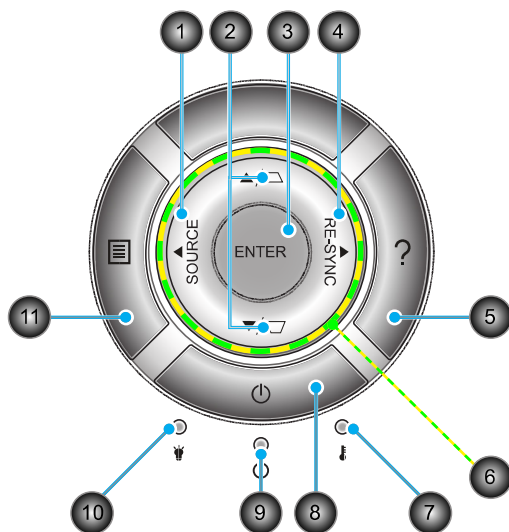
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源コードは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海外では使用できません。

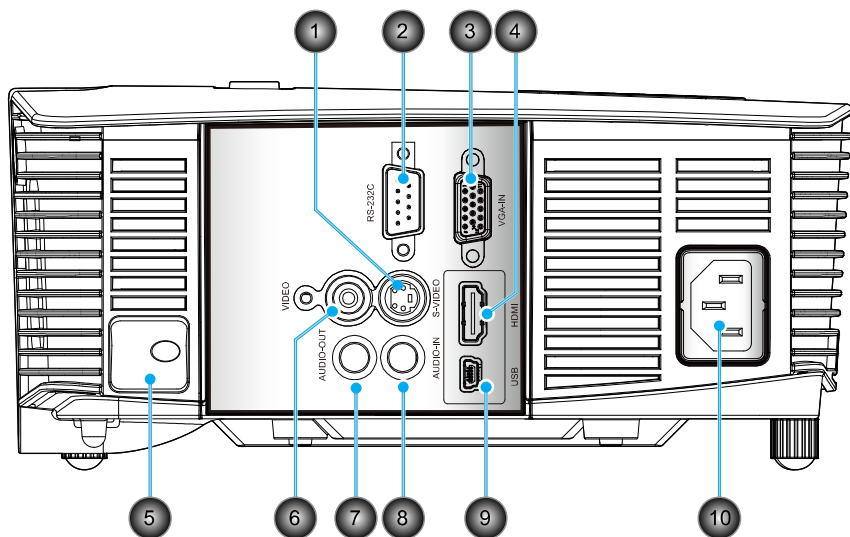
製品の各部名称

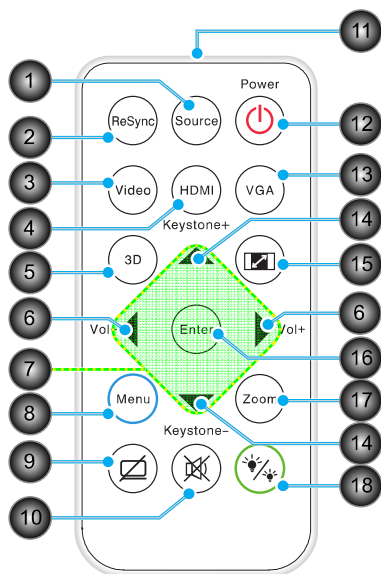
メインユニット

❖ インタフェースはモデルの仕様によって異なります。

❖ プロジェクタの通気口を塞がないでください。

1. フォーカスリング
2. ズームレバー
3. 赤外線レシーバー
4. コントロールパネル
5. 入出力接続
6. ケンシントン™ロックポート
7. 通気口(吸気)
8. スピーカー
9. 傾斜調整脚
10. 通気口(排気)

コントロールパネル

1. ソース
2. キーストン補正
3. 入力
4. 再同期
5. ヘルプ
6. 4方向選択キー
7. 温度インジケータLED
8. 電源
9. オン/待機LED
10. ランプインジケータLED
11. メニュー

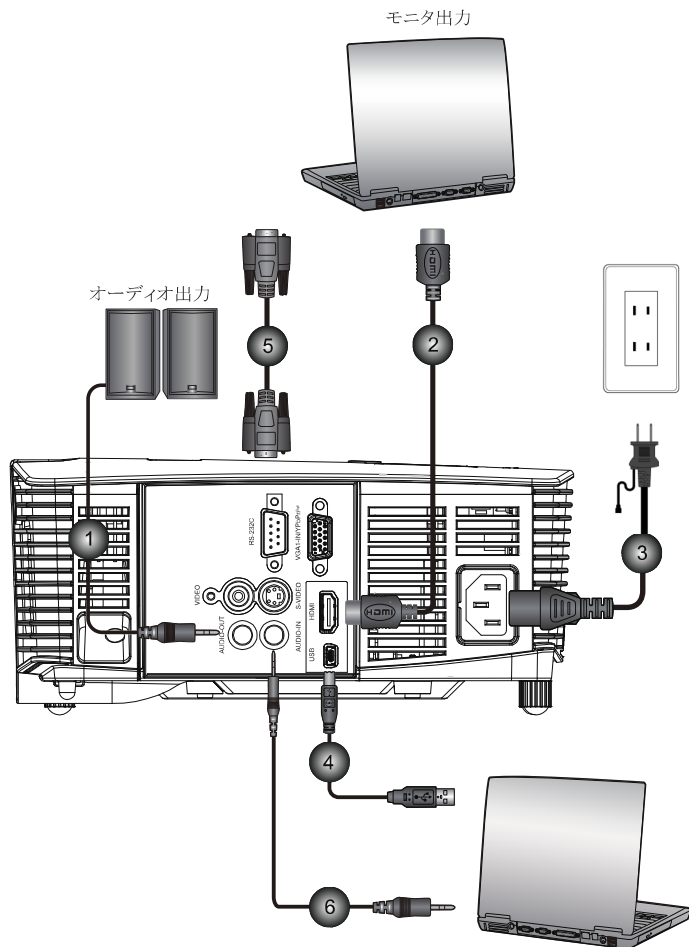
入/出力接続端子

1. Sビデオ入力端子
2. RS-232コネクタ(9ピン)
3. VGA入力/YPbPr端子(PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力/HDTV/YPbPr用)
4. HDMI入力端子(*)
5. セキュリティロックスロット
6. コンポジットビデオ入力端子
7. 音声出力端子(3.5 mmミニジャック)
8. 音声入力コネクタ(3.5 mmミニジャック)
9. ファームウェアアップグレードのUSBサービス
10. 電源ソケット

リモコン

1. ソース
2. 再同期
3. コンポジットビデオソースとSビデオ
4. HDMI
5. 3D
6. 音量+/-
7. 4方向選択キー
8. メニュー
9. AV ミュート
10. 消音
11. LEDインジケータ
12. 電源オン/オフ
13. VGA
14. キーストン+/-
15. アスペクト比
16. 入力
17. ズーム
18. 輝度モード

プロジェクタの接続

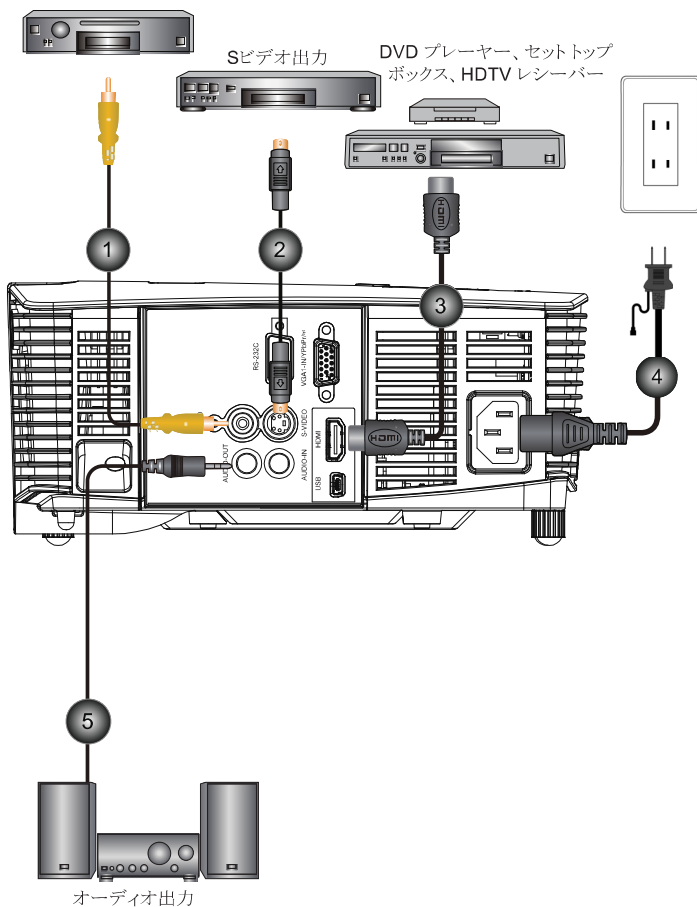
コンピュータ / ノート パソコンへの接続

モニタ出力

オーディオ出力

- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ
- インタフェースはモデルの仕様によって異なります。

1...*音声出力ケーブル
2...*HDMIケーブル
3...電源コード
4...*USBケーブル
5...*RS232ケーブル
6...*音声入力ケーブル

ビデオソースへの接続

コンポジット ビデオ出力端子

Sビデオ出力

DVD プレーヤー、セット トップ ボックス、HDTV レシーバー

オーディオ出力

- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ
- インタフェースはモデルの仕様によって異なります。

1... *コンポジットビデオケーブル
2... *Sビデオケーブル
3... *HDMIケーブル
4... 電源コード
5... *音声出力ケーブル

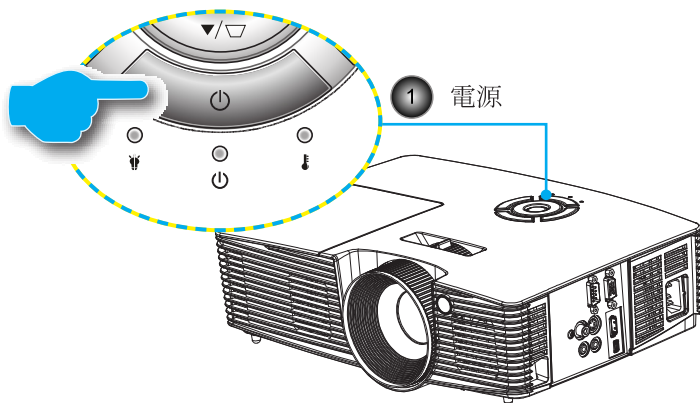
プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

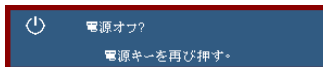
❖ 電源モード(スタンバイ)がエコ(< 0.5 W)に設定されると、プロジェクターがスタンバイ時にオーディオパススルー機能はオフになります。

1. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイLEDが赤色く点灯します。
2. プロジェクタ上部またはリモコンの[⏻]ボタンを押して、ランプの電源を入れます。オン/スタンバイLEDが青に点灯します。❶

   起動画面は約10秒後に表示されます。プロジェクターを初めて使用するとき、使用言語と省電力モードを選択するように求められます。
3. スクリーンに表示させたい(コンピュータ、ノートパソコン、ビデオ プレーヤーなど)ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクターは 自動的にソースを検出します。 検出されない場合、[メニュー] ボタンを押して、[オプション] を開きます。[ソースロック]が「オフ」になっていることを確認します。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの[ソース]ボタンを押すか、またはリモコンの[ソース]ボタンを押すと、入力を切り換えることができます。

❖ まず、プロジェクターの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

プロジェクターの電源を切る

1. リモコンまたはコントロールパネルの「⏻」ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフにします。
   画面上に次のメッセージが表示されます。

   「⏻」ボタンを再び押して確認します。押さないと、15 秒後にメッセージが消えます。「⏻」ボタンを再度押すと、プロジェクターはシャットダウンされます。
2. ファンはさらに10秒動作を続け、オン/スタンバイLEDが青く点滅します。この期間にプロジェクターは再度電源オンできず、プロジェクターのプラグを抜いてもいけません。

   冷却サイクルが完了すると、オン/スタンバイLEDは赤く点灯します (スタンバイモード)。この時点で、プロジェクターは「⏻」ボタンを押すと再度電源オンになります。
3. 長期間使用されない場合は、電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

警告インジケータ(以下を参照)がオンになると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

- [ランプ] LEDインジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ]インジケータが黄色に点滅している場合。
- [温度] LEDインジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ]インジケータが黄色に点滅している場合。これはプロジェクターが過熱状態になっていることを表します。通常の状況では、プロジェクターを再度オンすることができます。
- [温度] LEDインジケータが赤く点滅し、[オン/スタンバイ]インジケータが黄色に点滅している場合。

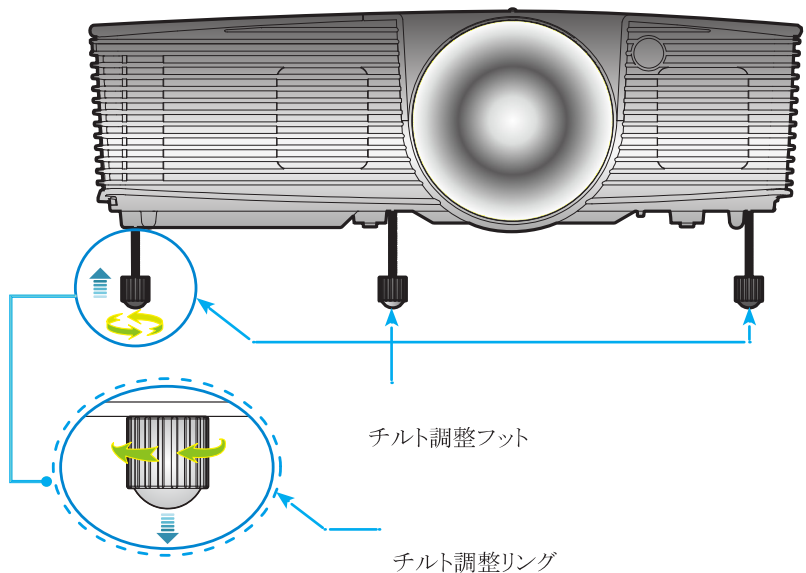
プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

- このような症状が見られる場合は、Optomaグローバルオフィスまでご連絡下さい。詳細は71-72ページを参照してください。

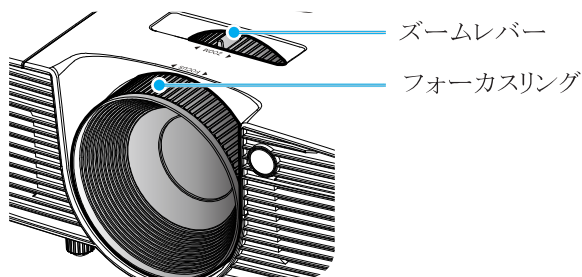
投射画像の調整

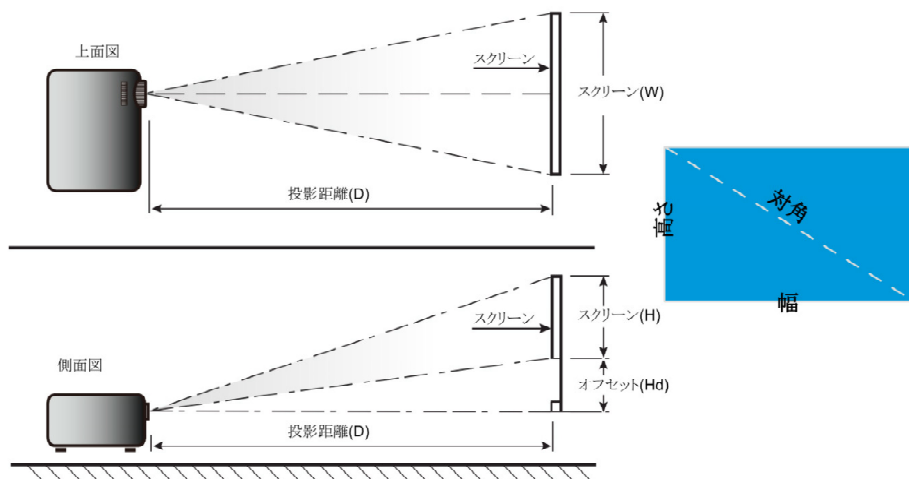
プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを 探します。
2. 調整リング底面から見てを左に回すとプロジェクタが持ち上がり、右に回すと下がります。必要に応じて、残りのフットにも繰り返します。

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

ズームリングを回してズームインまたはズームアウトすることができます。映像にフォーカスを合わせるには、明瞭な映像になるまでフォーカスリングを回します。

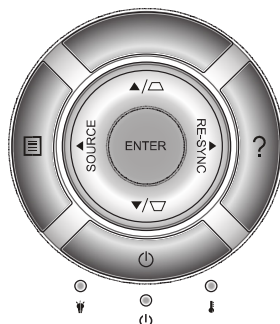
- このプロジェクターのフォーカス合わせの距離は1.0 ～ 10.0 mの範囲です。

投射画像サイズと投射距離

- 映像のサイズは30インチ～300インチの範囲で調整可能です。

W312

画面サイズ WXGA (16:10)	イメージサイズ m		投写距離（D） m		オフセット m
	幅(W)	高さ(H)	最短（ワイド）	最長（テレ）	(Hd)
30	0.65	0.40	1.00	1.10	0.05
40	0.86	0.54	1.33	1.47	0.07
60	1.29	0.81	1.99	2.21	0.10
70	1.51	0.94	2.32	2.58	0.12
80	1.72	1.08	2.65	2.95	0.13
90	1.94	1.21	2.99	3.31	0.15
100	2.15	1.35	3.32	3.68	0.17
120	2.59	1.62	3.98	4.42	0.20
150	3.23	2.02	4.98	5.52	0.25
180	3.88	2.42	5.97	6.63	0.30
200	4.31	2.69	6.64	7.36	0.34
250	5.39	3.37	8.29	9.21	0.42
300	6.46	4.04	9.95	11.05	0.50

❖ 表は、ユーザーの参考用の目安です。

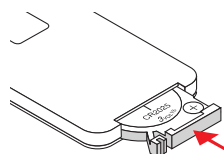
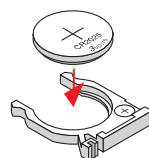
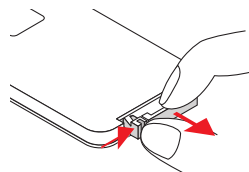
コントロールパネルおよびリモコン

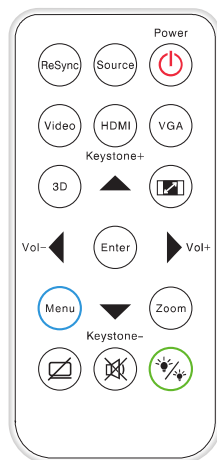
コントロールパネル

コントロールパネルの使用		
電源	⏻	21-22ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
再同期	RE-SYNC	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
入力する	ENTER	選択した項目を確定します。
ソース	SOUCE	[ソース] を押して入力信号を選択します。
メニュー		[メニュー] を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 [メニュー] を押します。
ヘルプ	?	ヘルプメニュー(OSDメニューが表示されていないときにのみ使用できます)。
4 方向選択キー		▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
キーストーン	⏢ / ⏢	⏢ ⏢ を使用して、プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。(±40度)
ランプインジケータLED	○	プロジェクタのランプのステータスを表示します。
温度インジケータLED	○	プロジェクタの温度ステータスを表示します。
オン/待機LED	⏻ ○	プロジェクタのステータスを表示します。

リモコンの電池装着

1. 電池カバーを押してスライドさせて外します。

2. 新しい電池を電池室に入れます。使用済みの電池を外して新しい電池(CR2025)を装着します。「+」の付いた側が上になっているのを確認してください。

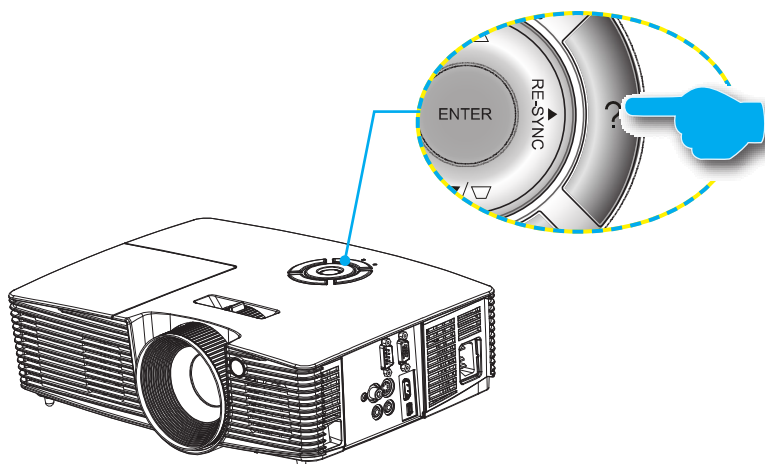
3. カバーを元に戻します。

安全な操作のために、以下の注意事項を守ってください。

- CR2025型電池を使用します。
- 水や液体に触れないようにします。
- リモコンを湿気や熱にさらさないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンから電池が液漏れした場合は、ケースをきちんと拭いて新しい電池を装着してください。
- 電池のタイプが違うと、破裂する恐れがあります。
- 使用済み電池は規定に従って処理してください。

リモコン

リモコンのボタン		
電源	⏻	21-22ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
ソース	Source	[ソース] を押して入力信号を選択します。
再同期	ReSYNC	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
ビデオ	Video	「Composite Video」と「S-video」信号との間に切り替えるには「Video」を押します。
HDMI	HDMI	[HDMI] を押して HDMI ソースを選択します。(特定のモデルの場合)
3D	3D	[3D]を押して3D同期反転OSDメニューをオン/オフします。
4 方向選択キー		▲ ▼ ◀ ▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
AV消音		一時的に音声と画像のオン/オフを切り換えることができます。
入力する	Enter	選択した項目を確定します。
消音		音声を一時的にオフ/オンします。(特定のモデルの場合)
VGA	VGA	[VGA] を押して VGA ソースを選択します。
キーストン +/-	KeyStone -/+	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比		ここで、好みのアスペクト比を選択します。
メニュー	Menu	[メニュー] を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 [メニュー] を押します。
音量 +/-	Vol -/+	音量の増減を調整します。(特定のモデルの場合)
輝度モード		輝度モードを変更します:明るさ -> エコ -> ダイナミック -> エコプラス 。(52ページ参照)
ズーム	Zoom	画像を拡大します。 ◀ ▶ボタンを押して拡大率を変更します。

ヘルプボタンを使用する

ヘルプ機能は、設定と操作を容易にします。

- リモコンの「?」ボタンを押すと、ヘルプメニューが開きます。

- [ヘルプ]メニューボタンは、入力ソースが検出されないときのみ機能します。

- 詳細については、54-59ページの「故障かなと思ったら」を参照してください。

- 入力ソースが検出されヘルプボタンが押された場合、問題を診断できるように、次のページが表示されます。

画像が横に傾く。

- できれば、画像が画面の中央に揃い、
  プロジェクタが画面の下部の下にくるようにプロジェクタの位置を変えます。
- リモコンの横が垂直になるまでで[キーストン+ / -]ボタンを押します。

[キーストン+ / -]

[終了]

上下　選択　Menu 終了

画像が大きすぎるか、小さすぎる。

- プロジェクタ上部のズームリングを調整します。
- プロジェクタを画面に近づけたり、遠ざけたりします。
- リモコンまたはプロジェクタパネルの[メニュー]ボタンを押し、
  [セットアップ| -> オーディオ入力)]に移動します。

[ディスプレー | フォーマット]

[終了]

上下　選択　Menu 終了

オーディオが聞こえない、または音量が小さすぎる。

- 音量設定が最低になっていませんか?
- 音量設定を上げてください。
- ケーブルがプロジェクタに正しく接続されていますか?
- 物理的接続をチェックし、ケーブルがソースからプロジェクタに
  正しく接続されていることを確認します。

[音量]

[終了]

上下　選択　Menu 終了

画像が不安定である、またはちらつく。

- [位相/周波数]を使用して補正します。
- コンピュータでモニタの色設定を変更します。

[位相]

[周波数]

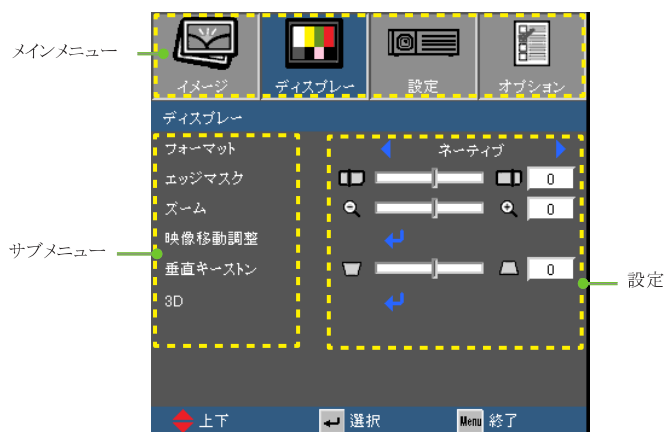
[終了]

上下　選択　Menu 終了

オンスクリーンディスプレー(OSD)メニュー

プロジェクタには多言語オンスクリーンディスプレーメニューが備わっており、画像の調整や種々の設定の変更が行えます。このプロジェクタはソースを自動検知します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの [メニュー] ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または [入力する] キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲ ▼キーを使って目的の項目を選択し、◀▶ キーを使用して設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [入力する] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

メニュー ツリー(階層)

Main Menu	Sub Menu			Settings
イメージ	ディスプレーモード			プレゼンテーション / 明るい / ムービー / sRGB / ブラックボード / ユーザー / 3D
	輝度			-50~50
	コントラスト			-50~50
	シャープネス			1~15
	#1 カラー			-50~50
	#1 色合い			-50~50
	詳細	γ		映画 / ビデオ / グラフィック / 標準
		BrilliantColor™		1~10
		色温度		暖色 / 標準 / 冷色
		色設定	赤 / 緑 / 青 / 青緑色 / マゼンタ色 / 黄	色合い / 彩度 / ゲイン
			白	赤 / 緑 / 青
			リセット	
			終了	
		色空間		自動 / RGB / YUV
				#3 自動 / RGB (0-255) / RGB (16-235) / YUV
		#2 信号	自動的	オン / オフ
			位相	0~31
			周波数	-5~5
			水平位置	-5~5
			垂直位置	-5~5
			終了	
		終了		
	リセット			
ディスプレー	フォーマット			4:3 / 16:9 or 16:10 / LBX / ネーティブ / 自動
	エッジマスク			0~10
	ズーム			-5~25
	映像移動調整	映像水平位置		-100~100
		映像垂直位置		-100~100
	垂直キーストン			-40~40
	3D	3D モード		オフ / DLP リンク
		3D->2D		3D / L / R
		#4 3D映像フォーマット		自動 / Side By Side / Top and Bottom / Frame Sequential
		#4 3D同期反転		オン / オフ
		終了		
設定	言語			**English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk/Dansk / Polski / Suomi / Русский / ελληνικά / Magyar / Čeština / فارسی / عربي /繁體中文 / 简体中文 / 日本語 /한국어 / ไทย / Türkçe / Việt / Bahasa Indonesia / Românå**
	投射方式			
	メニュー位置			
	画面のタイプ			16:10 / 16:9
	セキュリティ	セキュリティ		オン / オフ
		セキュリティタイマー		月 / 日 / 時
		パスワード変更		
		終了		

Main Menu	Sub Menu		Settings
設定	プロジェクター ID		0~99
	音声設定	内蔵スピーカー	オン / オフ
		消音	オン / オフ
		音量	0~10
	詳細	ロゴ	デフォルト / ニュートラル
		クローズドキャプション	オフ / CC1 / CC2
		終了	
オプション	入力ソース		VGA1 / S-Video / ビデオ / HDMI
	ソースロック		オン / オフ
	高度		オン / オフ
	信号捜索情報隠し		オン / オフ
	キーパッド ロック		オン / オフ
	テストパターン		なし / グリッド / 白
	IR機能		オン / オフ
	背景色		黒 / 赤 / 青 / 緑 / 白
	詳細	電源探知 オート パワー オン	オン / オフ
		自動電源オフ(分)	0~180
		クイック レジューム	オン / オフ
			0~990
			アクティブ / エコ
		終了	
	ランプ設定	ランプ使用時間	
		ランプ警告	オン / オフ
		輝度モード	明るい / エコ / ダイナミック省電モード / エコプラス(eco+)
		Dynamic Dimming	オン / オフ
		ランプリセット	はい / いいえ
		終了	
	#5 エアマスク設定（選用）	Optional Filter Installed	はい / いいえ
		エアマスク使用時間	0~9999
		エアマスク寿命提示	オフ / 300Hr / 500Hr / 800Hr / 1000Hr
		エアマスク使用時間リセット	はい / いいえ
		終了	
	リセット		はい / いいえ

- スクリーンメニュー(OSD)の内容は映像信号のタイプにより異なります。
- (#1)「カラー」と「色合い」は、ビデオモードでのみサポートされます。
- (#2)「信号」は、アナログVGA (RGB)信号でのみサポートされます。
- (#3) HDMIソース用のみです。
- (#4) 「3D同期逆転」は、3Dが有効の場合にのみ利用可能で、この3DモードはDLPリンクグラス専用です。
- (#5) エアマスク(ダストフィルター)はオプションアクセサリです。

ディスプレーモード

さまざまなイメージタイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- プレゼンテーション:PC入力に望ましいカラー、輝度。
- 明るい:PC入力に対する最大輝度。
- ムービー:ホーム シアター用。
- sRGB:標準化された正確なカラー。
- ブラックボード:黒板(緑)上に投射する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- ユーザー:ユーザーの設定。
- 3D:3Dモード用の推奨設定を有効化します。ユーザーが3Dを調整すると、設定が保存されます。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶を押すとコントラストが上がります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ を押すとシャープネスが上がります。

❖ [カラー]と[色合い]機能は、ビデオ モードでのみサポートされます。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ を押すと画像の彩度が低くなります。
- ▶ を押すと画像の彩度が高くなります。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

イメージ | 詳細

γ

入力ソースを最高画質で再現するために
微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

- 映画: ホームシアター用。
- ビデオ: ビデオまたは TV ソース用。
- グラフィック: イメージ ソース用。
- 標準:PC またはコンピュータ ソース用。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとシステム レベルのエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。範囲は「0」から「10」の間です。効果をより強くしたい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

色温度

冷色に設定されると、画像は青みを帯びます。(冷たいイメージ)

暖色に設定されると、画像は赤みを帯びます。(暖かいイメージ)

色設定

↵ を押して以下のように次のメニューに入り、▲または▼を使って項目を選択します。

- 赤/緑/青/青緑色/マゼンタ色/黄：◀または▶を使って色合い、彩度、カラーゲインを選択します。

- 白：◀または▶を使って赤、緑、および青のカラーを選択します。

- リセット：カラー調節の工場出荷時設定に戻すには「はい」を選びます。

❖ (*) HDMI入力の場合

色空間

自動、RGB、RGB (0 ~ 255)(*)、RGB (16 ~ 235)(*)またはYUVから適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

イメージ| 詳細| 信号 (RGB)

❖ [信号] は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。

自動

信号を自動的に選択します。この機能を使用すると、映像信号の位相、周波数の項目が無効になります。信号が自動ではない場合、ユーザーが次回プロジェクター起動時の設定を手動で調整して保存できるように、位相、周波数の項目は有効になります。

位相

ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたり、ちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

周波数

ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。この機能は、画像が垂直にちらつく場合に のみ使用します。

水平位置

- ◀ を押すとイメージが左に移動します。
- ▶ を押すとイメージが右に移動します。

垂直位置

- ◀ を押すとイメージが下に移動します。
- ▶ を押すとイメージが上に移動します。

ディスプレー

フォーマット

ここで、好みのアスペクト比を選択します。

❖ 「画面のタイプ」設定に応じて16:9または16:10。

- 4:3：このフォーマットは、4:3入力ソース用です。
- 16:9：ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9入力用です。
- 16:10：この格式はワイドスクリーンのノートパソコンなど、16:10比の映像入力用です。
- ネーティブ：このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- 自動：適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

自動	入力解像度		画面のタイプ = 16:10 自動/スケール		画面のタイプ = 16:9 自動/スケール	
	H	V	H	V	H	V
4:3	640	480	1066	800	960	720
	800	600	1066	800	960	720
	1024	768	1066	800	960	720
	1280	1024	1066	800	960	720
	1400	1050	1066	800	960	720
	1600	1200	1066	800	960	720
ワイド型ノートブック	1280	720	1280	720	1280	720
	1280	768	1280	768	1200	768
	1280	800	1280	800	1152	800
SDTV	720	576	1280	720	1280	720
	720	480	1280	720	1280	720
HDTV	1280	720	1280	720	1280	720
	1920	1080	1280	720	1280	720

16:10スクリーン	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1066 x 800 中央				
16:10	1280 x 800 中央				
ネーティブ	1:1中央マッピング		1:1マッピング(960 x 540)ディスプレー 1280 x 800	1280 x 720 中央	1:1 中央マッピング

16:9スクリーン	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	960 x 720 中央				
16:9	1280 x 720 中央				
ネーティブ	1:1中央マッピング		1:1マッピング(960 x 540)ディスプレー 1280 x 720	1280 x 720 中央	1:1 中央マッピング

- 「エッジマスク」設定は各入出力端子ごとに異なります。
- 「エッジマスク」と「ズーム」設定は同時利用できません。

エッジマスク

エッジマスク機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをエッジマスクしてビデオソースのエッジのビデオ エンコード ノイズを削除します。

ズーム

- ◀ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

映像移動調整

↵ を押して以下のように次のメニューに入り、▲ または▼ を使って項目を選択します。

- 映像水平位置：◀または▶を使ってイメージの位置を水平方向に移動します。
- 映像垂直位置：◀または▶を使ってイメージの位置を垂直方向に移動します。

垂直キーストン

◀ または ▶ を押して画像の垂直のゆがみを調整します。画像が台形に見える場合、このオプションにより画像を調整することができます。

ディスプレー | 3D

- 「3D同期反転」は、3Dが有効時のみ利用可能です。このモードはDLP Linkグラス専用です。
- 3Dビューには、互換性のある3Dソース、3Dコンテンツおよびアクティブシャッターグラスが必要です。
- サポートする3D形式については64ページをご参照ください。

3D モード

- オフ：「オフ」を選ぶと、3D画像での3D設定がオフになります。
- DLPリンク：「DLPリンク」を選ぶと、DLPリンク3D画像のために最適化された設定が使用されます。

3D -> 2D

- 3D：3D信号を表示します。
- L (左)：3Dコンテンツの左のフレームを表示します。
- R (右)：3Dコンテンツの右のフレームを表示します。

3D映像フォーマット

- 自動：3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。
- SBS：「Side By Side」形式の3Dコンテンツには、このモードを使用します。
- Top and Bottom：「Top and Bottom」形式の3Dコンテンツには、このモードを使用します。
- Frame Sequential：「Frame Sequential」形式の3Dコンテンツには、このモードを使用します。

3D同期反転

- 「オン」を押すと、左右のフレームのコンテンツが反転します。
- デフォルトのフレームのコンテンツの場合、「オフ」を押します。

設定

言語

多言語対応オン スクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの ◀ または ▶ を押し、▲ または ▼ キーを使ってお好みの言語を選択します。[入力する] を押すと選択が確定されます。

投射方式

❖ リアおよびリア-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

▶ フロント

これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。

▶ リア

選択されると、画像を左右逆向きに表示します。

▶ フロント-天吊り

選択されると、画像を上下逆向きに表示します。

▶ リア-天吊り

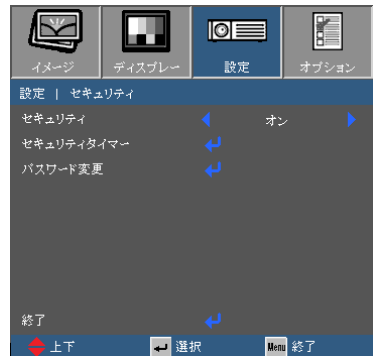
選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

プロジェクターID

メニュー (範囲 0~99)を使ってID定義を設定することができます。これにより、ユーザーは、RS232を使って個別のプロジェクターを制御できます。RS232 の全コマンド一覧については、65-69ページを参照してください。

設定 | セキュリティ

❖ 「セキュリティ」はモデルの仕様によって異なります。

セキュリティ

- オン: 「オン」を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- オフ: 「オフ」を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

❖ デフォルトのパスワードは、「1234」(初回時) です。

セキュリティタイマー

この機能を使用して、プロジェクターを使用できる時間(月/日/時間)を設定します。この時間が過ぎると、パスワードを入力が再び求められます。

パスワード変更

- はじめて設定するとき:
  1. [Enter]を押して、パスワードを設定します。
  2. パスワードは4桁で設定します。
  3. リモコンの数字ボタンを押してパスワードを入力し、[Enter] キーを押してパスワードを確認します。
- パスワードを変更するとき:
  1. [Enter]を押して、古いパスワードを入力します。
  2. 数字ボタンを押してパスワードを入力し、[Enter] を押して確定します。
  3. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁)を入力し、[Enter] を押して確定します。
  4. もう一度新しいパスワードを入力し、[Enter] を押して確定します。

- 間違ったパスワードを3回続けて入力すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。
- パスワードを忘れてしまった場合、お近くのサポートセンターにお問い合わせください。

設定 | 音声設定

内蔵スピーカー

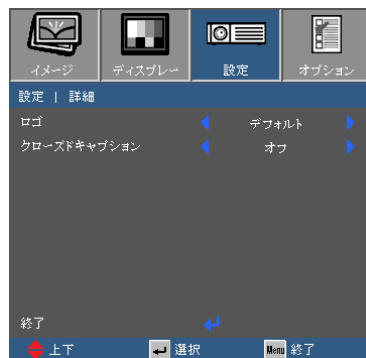
「オン」または「オフ」を選んで、内蔵スピーカーをオン・オフします。

消音

- 「オン」を選択すると消音が有効になります。
- 「オフ」を選択すると消音がオフになります。

音量

- ◀ を押すと、音量が下がります
- ▶ を押すと、音量が上がります。

設定 | 詳細

ロゴ

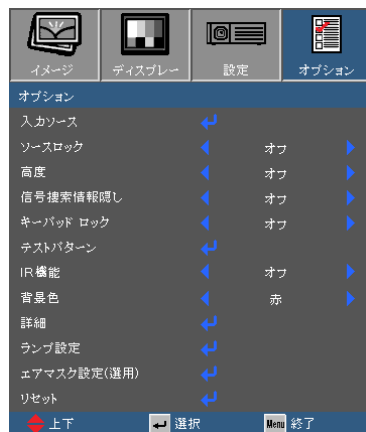
この機能を使用して希望する起動画面を設定します。変更が行われると、次にプロジェクタの電源をオンにするときに有効になります。

- デフォルト：デフォルトの起動画面です。
- ニュートラル：起動画面でロゴは表示されません。

クローズドキャプション

この機能を使用して、必要なスタートアップ画面を設定します。変更を行うと、次回プロジェクターの電源をオンにした際に有効になります。

- オフ：「オフ」を選択するとクローズドキャプションがオフになります。
- CC1：CC1 言語: アメリカ英語。
- CC2：CC2 言語 (ユーザーの TV チャンネルによって異なります):
  スペイン語、フランス語、ポルトガル語、ドイツ語、
  デンマーク語。

オプション

入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。 ↵ を押して、サブメニューに入り、必要なソースを選択します。「入力する」を押すと選択が確定されます。プロジェクタは、非選択状態の入力を検索しません。

ソースロック

- オン: プロジェクターは、現在の入力接続のみを検索します。
- オフ: プロジェクターは、現在の入力信号が途切れると、自動的に他の信号を捜索します。

高度

「オン」が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

信号捜索情報隠し

- オン: 「オン」を選択すると、情報メッセージ が非表示になります。
- オフ: 「オフ」を選択すると、[検索中] のメッセージが表示されます。

❖ キーパッドロックを解除するには、プロジェクター上部の「Enter」キーを5秒間、押し続けます。

キーパッドロック

キーボードロック機能が「オン」の場合、コントロールパネルはロックされますが、プロジェクターはリモコンによって操作できます。「オフ」を選択すると、コントロールパネルを再び使用できるようになります。

テストパターン

テストパターンを表示します。これにはグリッド、白、表示なしがあります。

IR機能

- オン:「オン」を選択すると、プロジェクタをリモコンで操作できます。「オフ」から「オン」に設定を変更すると、警告メッセージが表示されます。

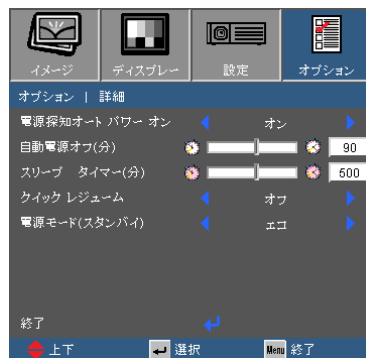
- オフ:「オフ」を選択すると、コントロールパネルキーのみが使用可能になります。「オン」から「オフ」に設定を変更すると、警告メッセージが表示されます。

背景色

信号が使用できないとき、この機能を使用して[黒]、[赤]、[青]、[緑]、[白]画面を表示します。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

オプション | 詳細

電源探知オート パワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC電源が供給されると自動的に電源オンになり、プロジェクターのコントロールパネルまたはリモコンの [⏻] キーを押す必要はありません。

自動電源オフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

- 電源モード(スタンバイ)がエコ(< 0.5 W)に設定されると、プロジェクターがスタンバイ時にオーディオパススルー機能はオフになります。
- プロジェクタの電源オフ後、スリープタイマーの値が0にリセットされます。
- プロジェクターはカウントダウン終了後、自動的にオフになります。デフォルト設定は20分です。

スリープ タイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

クイック レジューム

- オン：プロジェクタが誤ってオフになった場合、100秒以内に電源オンにするとプロジェクタは再び即座にオンになります。
- オフ：ユーザーがプロジェクタをオフにしたとき、ファンが即座にシステムの冷却を開始します。

電源モード (スタンバイ)

- エコ: [エコ] を選択すると、節電モードになります(< 0.5 W)。
- アクティブ: [アクティブ] を選ぶと、通常のスタンバイが有効となります。

オプション|ランプ設定

ランプ使用時間

投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。
メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

❖ 操作中に環境温度が40℃を越えると、プロジェクタが自動的にエコモードに切り替わります。

輝度モード

- 明るい:「明るい」を選択すると明るさが増します。
- エコ:「エコ」を選択するとプロジェクータランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を伸ばすことができます。
- ダイナミック省電モード:「ダイナミック省電モード」を選択して、コンテンツの輝度レベルに基づいてランプを暗くし、ランプの消費電力を100%～30%の間で動的に調節します。ランプ寿命が延びます。
- エコプラス:「エコプラス」を選ぶと、、優れたパフォーマンスおよびランプ寿命の向上および節電機能を融合した、最新のEco+テクノロジーが有効となります。

Dynamic Dimming

- オン:ダイナミック「オン」を選択すると、ランプモードでのオプションが「ダイナミック」になります。
- オフ:ダイナミック「オフ」を選択すると、ランプモードでのオプションが「明るい」と「エコ」になります。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

オプション | エアマスク設定 (選用)

- エアマスク(ダストフィルタ)はオプションのアクセサリです。

Optional Filter installed

「はい」を選ぶと、使用500時間で警告メッセージが表示されます。「いいえ」を選ぶと、警告メッセージは表示されません。

フィルタのデフォルト設定は「いいえ」です。フィルタを組み立てた後、プロジェクタの電源を入れ、「メニュー」を押して、「オプション -> オプションのフィルタ設定 -> オプションのフィルタ取り付け」に行き、「はい」を選択します。

エアマスク使用時間

フィルター時間を表示します。

エアマスク寿命提示

フィルター交換メッセージが表示されたとき、警告メッセージを表示するか非表示にするかをこの機能で設定します。(工場デフォルト設定:500時間)

エアマスク使用時間リセット

ダストフィルターの交換または清掃の後に、ダストフィルターカウンターをリセットしてください。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

? スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、[設置方法]の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクター ランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- 「AVミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。リモコンの ボタンでオン/オフの設定ができます。

? 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない

- リモコンまたはコントロールパネルの「再同期」を押します。
- PC使用時:

Windows 95, 98, 2000, XP, Windows 7:

1. [マイコンピュータ] アイコンから [コントロールパネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブを選択します。
3. 画面の解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。
4. [詳細設定] ボタンをクリックします。

それでもプロジェクターから画像全体が投射されない場合は、現在使用しているモニタ ディスプレーを変更する必要があります。次のステップを 参照してください。

5. 解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。
6. [モニタ] タブの[変更] ボタンを選択します。

7. [全デバイス表示] をクリックします。次に、SPボックスで [標準モニタタイプ] を選択し、[モデル] ボックスで必要な解像度モードを選択します。
8. モニタディスプレーの解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。

- ノートパソコン使用時 :

1. まず、上記の手順に従って
   コンピュータの解像度を調整します。
2. 以下に記載の適切なキーを押すと、ノートPCメーカーはノートPCからプロジェクターに信号を送信します。例: [Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル:
システム設定 ⇨ ディスプレー ⇨ 調整 ⇨ ミラーディスプレー

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。

? ノートパソコンの画面に、投射画像が表示されない

- ノートパソコン使用時
  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレー機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

? 画像が乱れる、またはちらつく

- [位相] を使って修正してください。詳細については、39ページを参照してください。
- コンピュータのモニタの色設定を変更してください。

? 画像に縦の縞模様が出る

- [周波数] を調整してください。詳細については、39ページを参照してください。
- グラフィックカードのディスプレーモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

? 画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射画面が必要な距離の間に入っていることを確認してください。24-25ページを参照してください。

? 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモルフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターのディスプレーモードがOSDで16:9に設定されていれば、プロジェクターは最高の画像を表示します。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3にフォーマットを変更してください。
- それでも画像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

? 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクタ上部のズームリングを調節します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- リモコンの「メニュー」ボタンを押して、「ディスプレ→フォーマット」に移動し異なる設定を試してください。

? 画像の両側が斜めになる

- 可能であれば、スクリーンを中心にスクリーン底部の下方でプロジェクタが水平になるように設置します。
- 側面が垂直になるまで、リモコンの「キーストーン +/-」ボタンを押します。
- OSDから「ディスプレー→垂直キーストーン」を使って調整をします。

? 画像が反転する

- スクリーンメニューから[設定→ 投射方式]を選択し、投射方向を調整してください。

? プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、60 秒待ってから電源を接続し直してください。
- プロジェクターをリモコンで操作して、「キーパッドロック」がアクティブになっていないことを確認してください。

? 画像がダブる

- 通常の2D画像がぼやけた二重画像にならないよう、「3D映像フォーマット」ボタンを押して「オフ」にしてください。

? サイドバイサイド形式の3D映像の場合

- 入力信号がHDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、「3D映像フォーマット」ボタンを押して「Side By Side」にしてください。

? 画像が3Dで表示されない

- 3Dグラスが電池切れでないかチェックします。
- 3Dグラスがオンになっているかチェックします。
- 「3D映像フォーマット」が適切に設定されているか、ご確認ください。

? ランプが消える、またはランプから破裂音がする

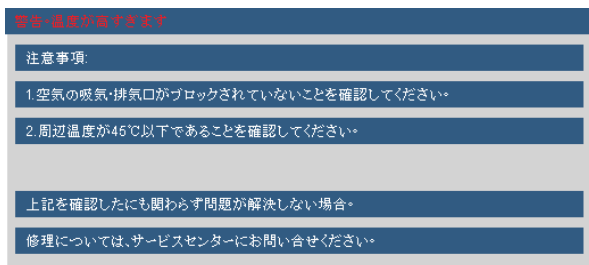
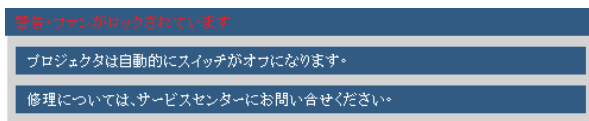
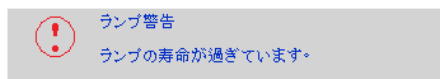
- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(60-61ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。

LED 点灯メッセージ

メッセージ	⏻ ○ オン/待機LED (青/赤)	🌡 ○ 温度インジケータLED (赤)	💡 ○ ランプインジケータLED (赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	赤	○	○
電源オン (ウォーミング)	青で点滅する	○	○
ランプ点灯	青	○	○
電源オフ(冷却)	青で点滅する	○	○
エラー(過熱)	赤で点滅する	☼	○
エラー (ファントラブル)	赤で点滅する	点滅	○
エラー (ランプトラブル)	赤で点滅する	○	☼

点灯 ⇨ ☼
消灯 ⇨ ○

オンスクリーン メッセージ

- 温度警告:

- ファンのトラブル:

- ランプ警告:

- 表示範囲外:

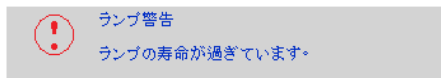
リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの赤外線レシーバーから水平および垂直方向に±20°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクターから7 m以内 (±0°) に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

ランプ警告

ランプの寿命が過ぎています。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡してランプを購入し、交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。

CAUTION!

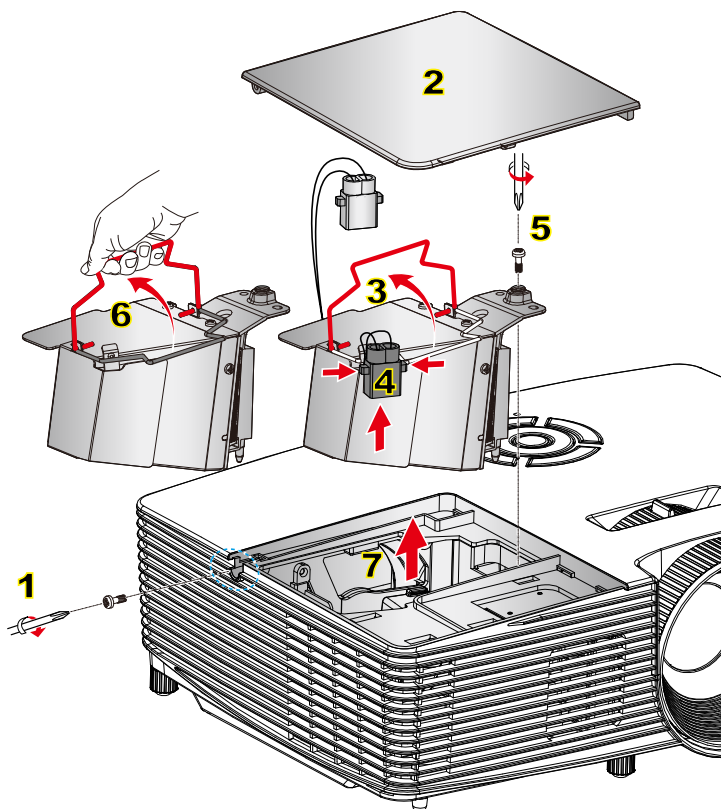
HIGH TEMPERATURE COOL FOR 30 MINUTES.
HIGH PRESSURE LAMP MAY EXPLODE IF IMPROPERLY HANDED.
REFER TO LAMP REPLACEMENT INSTRUCTIONS.DISCONNECT POWER BEFORE CHANGING LAMP.

ATTENTION:
A HAUTES TEMPERATURES REFROIDISSEZ PENDANT 30 MINUTES.
Les lampes à haute pression peuvent exploser si elles sont mal utilisées.
Confier l'entretien à une personne qualifiée.
COUPERLE COURANT AVANT DEREMPLACERLE LAMPES.

警告：天井から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。

警告：ランプ周辺は高熱になっています。放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください。

警告：怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

- ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。
- プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった場合、プロジェクターは動作しません。
- ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。 手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。 誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

ランプ交換手順：

1. [⏻] ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. ランプが十分に冷めるまで約1時間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーの上に付いた1つのネジをゆるめます。1
5. カバーを持ち上げて、取り外します。2
6. ランプハンドルを立ち上げます。3
7. ランプコードの両側を押して持ち上げ、外します。4
8. ランプ モジュールの上に付いた1つのネジをゆるめます。5
9. ランプハンドル6を持ち、ランプモジュールをゆっくりと注意深く移動します。7

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

10. プロジェクタの電源を入れ、ランプタイマーをリセットします。

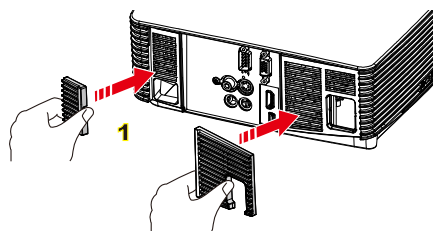
ランプリセット: (i) [メニュー] を押し→ (ii) [オプション] を選択し→ (iii) [ランプ設定] を選択し→ (iv) [ランプリセット] を選択し→ (v) [はい] を選択します。

ダストフィルタの取り付けおよび清掃

ダストフィルタの取り付け

❖ ダストフィルタ(エアマスク)は、オプションのアクセサリです。

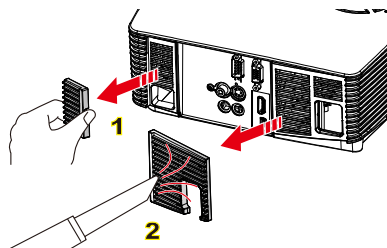
手順:

1. 2つのフィルタを取り付けます。
2. プロジェクタの電源を入れ、「メニュー」を押して、「オプション」 -> 「エアマスク設定」 -> 「Optional Filter Installed」に行き、「はい」を選択します。

ダストフィルタの清掃

ご使用3カ月ごとにダストフィルタを清掃するようお勧めします。プロジェクタがホコリの多い環境で使用される場合は、より頻繁に清掃してください。

手順:

1. 「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. 電源コードを外します。
3. ゆっくり、慎重にダストフィルタを取り外します。
4. ダストフィルタを清掃するか、交換します。
5. ダストフィルタを取り付けるには、上記手順を逆に行います。
6. ダストフィルターの交換または清掃の後に、ダストフィルターカウンターをリセットします。「メニュー」を押し、「オプション」 -> 「エアマスク設定」 -> 「エアマスク使用時間リセット」に行きます。

ダストフィルタを取り外し、再度取り付けないときはプロジェクタの電源を入れ、「メニュー」を押して、「オプション」 -> 「エアマスク設定」 -> 「Optional Filter Installed」に行き、「いいえ」を選択します。

互換モード

Computer/Video/HDMI/Mac互換性

- ワイドスクリーン解像度では、サポートされる互換性は、ノートパソコン/デスクトップパソコンのモデルに依存します。
- ネイティブの1280 x 800 (WXGAモデル)以外の解像度を使用すると、画質が劣化する場合があることにご注意ください。
- (*1) True 3Dプロジェクターの3Dタイミングです。
- (*2) Prosceneとデータプロジェクタ > 4,000ルーメンのみ、ネイティブ解像度のサポートが必要。
- (*3)はMac専用のHDMI入力信号をサポートしません。
- 120 Hz入力信号はグラフィックスカードサポートによって異なる場合があります。

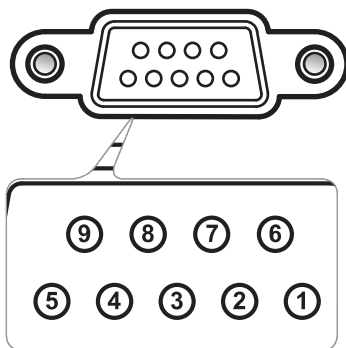
映像信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	ビデオ	アナログ	HDMI	Mac
NTSC	720 x 480	60	O	-	-	-
PAL/SECAM	720 x 576	50	O	-	-	-
VGA	640 x 480	60	-	O	O	O
	640 x 480	67	-	O	-	-
	640 x 480	72.8	-	O	-	O
	640 x 480	85	-	O	-	O
SVGA	800 x 600	56.3	-	O	-	-
	800 x 600	60.3 (*1)	-	O	O	O
	800 x 600	72.2	-	O	O	O
	800 x 600	85.1	-	O	O	O
	800 x 600	120 (*1)	-	O	O	-
XGA	1024 x 768	48	-	O	O	
	1024 x 768	50	-	O (*2)	O (*2)	
	1024 x 768	60 (*1)	-	O	O	O
	1024 x 768	70.1	-	O	O	O
	1024 x 768	75	-	O	O	O
	1024 x 768	85	-	O	O	O
	1024 x 768	120 (*1)	-	O	O	-
WSVGA	1024 x 600	60	-	-	O	-
HDTV (720p)	1280 x 720	50	O	O	O	-
	1280 x 720	60 (*1)	O	O	O	O
	1280 x 720	120 (*1)	-	O	O	-
SXGA	1280 x 1024	60	-	O	O	O
	1280 x 1024	75	-	O	O	O
	1280 x 1024	85	-	O	O	-
SXGA+	1400 x 1050	60	-	O	O	-
UXGA	1600 x1200	60	-	O	O	-
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24	O	O	O	-
	1920 x 1080	30	-	-	O	-
	1920 x 1080	50	O	O	O	-
	1920 x 1080	60	O	O	O	O
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50	O	-	O	-
	1920 x 1080	60	O	-	O	-

映像信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	ビデオ	アナログ	HDMI	Mac
SDTV (576i)	720 x 576	50	O	-	O	-
SDTV (576p)	720 x 576	50	O	-	O	-
SDTV (480i)	720 x 480	60	O	-	O	-
SDTV (480p)	720 x 480	60	O	-	O	-

3D入力ビデオ互換性

<table>
<tr><td rowspan="18">入力解像度</td><td rowspan="9">HDMI 1.4a 3D入力</td><td colspan="3">入力タイミング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">Top-and-Bottom</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">Top-and-Bottom</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">Frame packing</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">Frame packing</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50 Hz</td><td colspan="2">Side-by-Side (Half)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60 Hz</td><td colspan="2">Side-by-Side (Half)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">Top-and-Bottom</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">Frame packing</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDMI 1.3 3D コンテンツ</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">Side-by-Side (Half)</td><td rowspan="4">3Dフォーマットが[SBS]の場合</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">Top-and-Bottom</td><td rowspan="4">3Dフォーマットが[Top and Bottom]の場合</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>480i</td><td>HQFS</td><td>3Dフォーマットが[Frame sequential]の場合</td></tr>
</table>

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て

Pin番号	仕様 (プロジェクター側から)
1	N/A
2	RXD
3	TXD
4	N/A
5	GND
6	N/A
7	N/A
8	N/A
9	N/A

RS232プロトコル機能リスト

1. 全てのASCIIコマンドの後には<CR>が追加されます。

2. 0DはHEXコードで、ASCIIコードの<CR>を意味します。

Baud Rate : 9600
Data Bits: 8
Parity: None
Stop Bits: 1
Flow Control : None
UART16550 FIFO: Disable
Projector Return (Pass): P
Projector Return (Fail): F

XX=00-99, projector's ID,
XX=00 is for all projectors

SEND to projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function		Description
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON		
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF		(0/2 for backward compatible)
~XX00 1 ~nnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password		~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync		
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute	On	
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute	On	
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze		
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)	
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus		
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus		
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Source Commands	HDMI	
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA1	
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 0D		VGA 2	
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA1 Component	
~XX12 9	7E 30 30 31 32 20 39 0D		S-Video	
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video	
~XX12 13	7E 30 30 31 32 20 31 33 0D		VGA 2 Component	
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Presentation	
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright	
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie	
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB	
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User	
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard	
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D	
~XX20 14	7E 30 30 32 30 20 31 34 0D		ISF Day	
~XX20 15	7E 30 30 32 30 20 31 35 0D		ISF Night	
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness		n = 1 (a=31) ~ 15 (a=31 35)
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	Color Settings/White	Red	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX33 1	7E 30 30 33 33 20 31 0D		Reset	
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColor™		n = 1 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Gamma	Film	
~XX35 2	7E 30 30 33 35 20 32 0D		Video	
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics	
~XX35 4	7E 30 30 33 35 20 34 0D		Standard	
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 31 0D	Color Temp.	Warm	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Medium	
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold	
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto	
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB\RGB(0-255)	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV	
~XX37 4	7E 30 30 33 37 20 34 0D		RGB(16-235)	
~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal	Frequency	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX91 n	7E 30 30 39 31 20 a 0D		Automatic	n = 0 disable; n = 1 enable
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase	n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing

~XX45 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Color (Saturation)		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX44 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Tint		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native	
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto	
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Zoom		n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift		n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift		n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone		n = -40 (a=2D 34 30) ~ 40 (a=34 30)
~XX230 0	7E 30 30 32 33 30 20 30 0D	3D Mode	OFF	
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link	
~XX400 0	7E 30 30 34 30 30 20 30 0D	3D→2D	3D	
~XX400 1	7E 30 30 34 30 30 20 31 0D		L	
~XX400 2	7E 30 30 34 30 30 20 32 0D		R	
~XX405 0	7E 30 30 34 30 35 20 30 0D	3D Format	Auto	
~XX405 1	7E 30 30 34 30 35 20 31 0D		SBS	
~XX405 2	7E 30 30 34 30 35 20 32 0D		Top and Bottom	
~XX405 3	7E 30 30 34 30 35 20 33 0D		Frame sequential	
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	On	
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D	3D Sync Invert	Off	
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak	
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic	
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai	
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish	
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi	
~XX70 25	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Vietnamese	
~XX70 26	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Indonesian	
~XX70 27	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Romanian	
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop	
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop	
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling	
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling	
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left	
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right	
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre	
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left	
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right	
(WXGA only)				
~XX90	7E 30 30 39 31 20 31 0D	Screen Type	16:10	
~XX90 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D		16:9	
~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D	Security	Security Timer	Month/Day/Hour n = mm/dd/hh mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32) dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30) hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D		Security Settings	Enable
~XX78 0 ~nnnn	7E 30 30 37 38 20 32 20 a 0D			Disable(0/2 for backward compatible) ~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID		n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)
~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute	On	
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX310 0	7E 30 33 31 30 20 30 0D	Internal Speaker	Off	
~XX310 1	7E 30 33 31 30 20 31 0D		On	
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume (Audio)		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo	Default	
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D		Neutral	

~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning	Off	
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D		cc1	
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D		cc2	
~XX89 0	7E 30 30 38 39 20 30 0D	Audio Input	Default	
~XX89 1	7E 30 30 38 39 20 31 0D		Audio1	
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On	
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude	On	
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide	On	
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock	On	
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX195 0	7E 30 30 31 39 35 20 30 0D	Test Pattern	None	
~XX195 1	7E 30 30 31 39 35 20 31 0D		Grid	
~XX195 2	7E 30 30 31 39 35 20 32 0D		White Pattern	
~XX11 0	7E 30 30 31 31 20 30 0D	IR Function	Off	
~XX11 1	7E 30 30 31 31 20 31 0D		On	
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Blue	
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black	
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Red	
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D		Green	
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D		White	
~XX105 1	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On	On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30)
~XX107 n	7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Sleep Timer (min)	n = 0 (a=30) ~ 990 (a=39 39 39)
~XX115 1	7E 30 30 31 31 35 20 31 0D		Quick Resume	On
~XX115 0	7E 30 30 31 31 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX114 1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0D		Power Mode(Standby)	Eco.(<=0.5W)
~XX114 0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0D			Active (0/2 for backward compatible)
~XX109 1	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D		Lamp Reminder	On
~XX109 0	7E 30 30 31 30 39 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D		Brightness Mode	Bright
~XX110 2	7E 30 30 31 31 30 20 32 0D			Eco
~XX110 4	7E 30 30 31 31 30 20 34 0D			Dynamic
~XX110 3	7E 30 30 31 31 30 20 33 0D			Eco+
~XX111 1	7E 30 30 31 31 31 20 31 0D		Lamp Reset	Yes
~XX111 0	7E 30 30 31 31 31 20 30 0D			No (0/2 for backward compatible)
~XX322 0	7E 30 30 33 32 32 20 30 0D	Filter Reminder		Off
~XX322 1	7E 30 30 33 32 32 20 31 0D			300 hr
~XX322 2	7E 30 30 33 32 32 20 32 0D			500 hr
~XX322 3	7E 30 30 33 32 32 20 33 0D			800 hr
~XX322 4	7E 30 30 33 32 32 20 34 0D			1000 hr
~XX323 1	7E 30 30 33 32 33 20 31 0D	Filter Reset		Yes
~XX323 0	7E 30 30 33 32 33 20 30 0D			No
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset		Yes
~XX99 1	7E 30 30 39 39 20 31 0D	RS232 Alert Reset	Reset System Alert	
~XX210 n	7E 30 30 32 30 30 20 n 0D	Display message on the OSD		n: 1-30 characters

SEND to emulate Remote

~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D		Up	
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D		Left	
~XX140 12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D		Enter (for projection MENU)	
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D		Right	
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D		Down	
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D		Keystone +	
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D		Keystone –	
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D		Volume –	
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D		Volume +	
~XX140 19	7E 30 30 31 34 30 20 31 39 0D		Brightness	
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D		Menu	
~XX140 21	7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D		Zoom	
~XX140 28	7E 30 30 31 34 30 20 32 38 0D		Contrast	
~XX140 47	7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0D		Source	

SEND from projector automatically

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
		System status	INFOn	n : 0/1/2/3/4/6/7/8 = Standby/Warming/Cooling/Out of Range/ Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/Lamp Hours Running Out

READ from projector

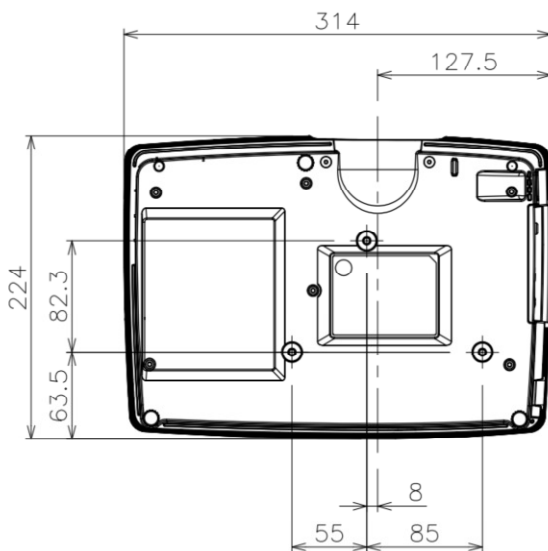
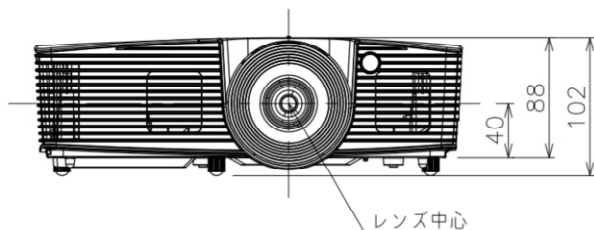
232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	OKn	n: 0/1/2/3/4= None/VGA1 /Video/S-Video/HDMI
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Software Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	n : 0/1/2/3/4/5/6/7/8/9 None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/User/Blackboard./3D/ISF Day/ ISF Night
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Aspect Ratio	OKn	(SVGA/XGA) n: 0/1/2/3/4 = 4:3/16:9/LBX/Native/AUTO *16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	OKn	n : 0/1/2 = Warm/Medium/Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n : 0/1/2/3 = Front-Desktop/ Rear-Desktop/ Front-Ceiling/ Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	Information	OKabbbbccdddde	a : 0/1 = Off/On bbbb: LampHour cc: source 00/01/02/03/04/05/ = None/VGA1/VGA2/Video/S-Video/HDMI dddd: FW version e : Display mode 0/1/2/3/4/5/6/7=None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/Use Blackboard/3D
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n:1/2/3= SVGA/ XGA/WXGA
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Hours	OKbbbb	bbbb: LampHour
~XX108 2	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Cumulative Lamp Hours	OKbbbbb	bbbbb: (5 digits) Total Lamp Hours
~XX321 1	7E 30 30 33 32 31 20 31 0D	Filter Usage Hours	OKbbbb	bbbb: Filter Usage Hours

天吊り設置

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずOptomaの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
   - ネジの種類:M4x3
   - ネジ長:8～11mm

❖ プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

⚠警告：

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。
4. 本体破損の原因となりますので、ネジの締付けは0.78N･m以上の締付けトルクで行わないでください。
   また、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

単位：mm

Optomaグローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

南米

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
カスタマーサービスTEL:
+44 (0)1923 691865

+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンジナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495

info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター:0120-212-750

e.info@os-worldwide.com
http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

台湾

231台灣新北市
新店區
北新路三段213號12F
www.optoma.com.tw

+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l’intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

- EMC指令 2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。 汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。